

経費回収率の向上に向けたロードマップ

【弥富市公共下水道事業】

(1) 経費回収率向上に向けたロードマップ

弥富市公共下水道事業では、平成 22 年 3 月より流域関連公共下水道として供用開始し、管渠については整備中の段階であることから、令和 5 年度末で水洗化率が約 49%と低く、経費回収率（使用料収入/汚水処理費）は約 90%となっています。

本市では経営改善に向けた取組として、令和 2 年度より地方公営企業法を一部適用しましたが、経費回収率のさらなる向上に向け、(2)に示すとおり各取組を実施していきます。

収入増加のための取組として、引き続き水洗化率向上のための取組を行います。また、使用料の見直しについて検討を行います。

支出削減のための取組として、投資の平準化や職員の意識向上等を行っていきます。

また、広域化・共同化の一環としても、コミュニティ・プラントや農業集落排水の公共下水道への接続について検討していきます。

経費回収率の向上に向けたロードマップ

項目	R6	計画期間									
		R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
経営戦略計画期間											
経営戦略の改定	○					○					○
下水道整備											
収入増加のための取組	水洗化率向上の取組										
	使用料見直しの検討									
支出抑制のための取組	投資の平準化										
共通事項	広域化・共同化の取組										

(2) 業務指標等の関連記載事項

①経営健全化に関する定量的な業績指標及び目標年限

- ・本経営戦略の計画期間は令和 7 年度～令和 16 年度であり、経費回収率は 100%程度を推移する見込みです。計画期間末令和 16 年度にかけて、経費回収率 100%程度の維持を目標とします。
- ・水洗化率については、計画期間末令和 16 年度において 62%程度になると予測しています。整備済みの区域について、水洗化率 100%を目指します。

計画期間内 (R7～R16)	経費回収率 100%程度の維持
	水洗化率の向上

②収入増加・支出削減のための具体的取組及び実施時期

- ・収入増加のための取組として、下水道接続PRの継続等により、水洗化率の向上に努めます。本経営戦略では、水洗化率実績の伸びを踏まえ、将来の水洗化率の向上を見込んでいます。試算期間40年間で平均して、毎年1.0%程度の水洗化率向上を見込んでいます。
- ・計画期間内令和8、9年度に使用料体系・使用料改定実施の是非を検討します。

計画期間内 (R7～R16)	水洗化率向上のための取組
	使用料見直しの検討

- ・支出削減のための取組として、令和4年度に管路施設のストックマネジメント基本計画を策定しており、投資の平準化や予防保全的な対応を検討しました。本経営戦略では、各建設改良費の金額や計上年度等を踏まえ、投資の平準化を図りつつ投資・財政計画の検討を行っています。今後も引き続き投資の平準化を図っていきます。
- ・コスト縮減など、より良い管理について引き続き職員への意識付けを行っていきます。また、事業収支等の状況を情報公開し、経営状況の見える化を図ります。
- ・広域化・共同化の一環としても、コミュニティ・プラントや農業集落排水の公共下水道への接続について検討していきます。接続により、使用料収入の増加や市全体としてのコスト縮減が見込まれます。令和8年度より検討を行い、令和11年度にコミュニティ・プラントの接続を目指します。

計画期間内 (R7～R16)	投資の平準化
	コミュニティ・プラントや農業集落排水の公共下水道への接続検討

③収支構造の改善の要否等についての定期的な検証・見直し

- ・計画期間を10年間と設定していますが、経営戦略で掲げた取組の効果や状況について、毎期決算後の計画値と実績値の比較により進捗状況の把握を行い、著しい乖離が生じ、計画通りに進まないことが判明した場合には計画の見直しが必要となります。なお、3～5年後の本経営戦略の見直し時点においては、物価上昇率や企業債利率の設定、使用料改定の必要性等について、社会情勢の影響を考慮して再度検討します。

3～5年ごと	経営戦略の見直し (物価上昇率や企業債利率の検証)
	使用料改定の必要性等についての検証